

【委員】

- この件については、自治会に持って帰って、神山の総意を確認する必要がある。ただ、説明があつた蛇塚の件は、頻繁に起こっているのか、お教えいただきたい。

【委員】

- 添付している写真を見ていただければわかるかと思うが、この箇所については、大型トラックとすれ違いをすることはほぼ不可能な状態で、待ち合わせをしたことが過去何度もある。また、最近、蛇塚の方にゴミの処分場ができるとの話があり、以前より大型車の往来が増えることが想定されている状況である。

【委員】

- 神山の別系統は、どこからどこへ出ているかを教えていただきたい。

【委員】

- 神山を南下して、新松田駅から国府津、もしくは小田原へ行く路線が出ている。

【会長】

- 神山経由で、小田原等へ行く路線を利用することができる状況である。そこで、富士急湘南バスとしては、神山経由を廃線にするか、便を減らしたいという意向である。一方、神山の自治会としては、この場で決めずに一度、持ち帰って総意を確認したいとしたところである。事務局で整理していただいた案が3つ示されているわけであるが、ご意見があれば、お願いしたい。

【委員】

- 3択で自治会に持ち帰るのは無理がある。現状を見ると、確かに、バスを運行するのが厳しく、費用対効果が合わないのは理解できる。ただ、籠場橋の方に1本化してしまうと、高齢者にとって、籠場橋まで移動しなくてはならず、大きな負担になると考える。費用対効果だけでなく、福祉的な側面からも判断する必要があるのではないか。ただ、路線バス自体も乗車人員が少ない状態であり、高齢者のマイカー運転が増えているという実情が変わらない中、人々は恒常的な公共交通システムを作っていくという気持ちにはならないのではないか。

【会長】

- 神山自治会の意向を踏まえ、この場で結論を出すことは難しいと思うので、事務局で示された②か③の方針になるかと思う。神山自治会の意向としては、③の内容が一番近いかもしれない。この件については、一度自治会に持ち帰っていただきまして、富士急湘南バスと自治会、それから町とで相談していただき、別途検討していきたいと思いますが、如何でしょうか。

【委員】

- 異議なし。

【委員】

- 今回の乗降調査では5日間だけであったが、必要に応じて、利用実態も含めた状況調査をもう少し長い期間で実施していきたいと思う。

【会長】

- 検討された結果については、町役場や会長、副会長に情報提供をいただき、その上で当該会議を再度開催する必要があるかどうかを判断したいと思う。

【委員】

- 神山のすれ違いが困難な件については、県の土木事務所との調整の中で、道路改良といった対応もできるかもしれないので、具体的な場所をお教えいただければ幸いである。

【委員】

- 実際の場所は、蛇塚の交差点を右折したところから、小田急線の踏切を過ぎた辺りまでの区間であり、バスとトラックは勿論、バスと乗用車でもすれ違いが厳しい状況である。

【委員】

- 本日、出席いただいている方の中で、具体的な道路幅員が分かる方はいるのか。

【委員】

- 蛇塚の交差点から小田急線の踏切までの区間については秦野市に属する範囲となることから、平塚土木事務所の管轄になるため、本日のメンバーでは具体的な数値は分からないかと思う。

【委員】

- それでは、後日、分かったら、教えていただきたい。

【委員】

- 承知した。